

# 2020 年度 JCN バーチャルツアー in 福島 アンケート結果

## 1. アンケート概要

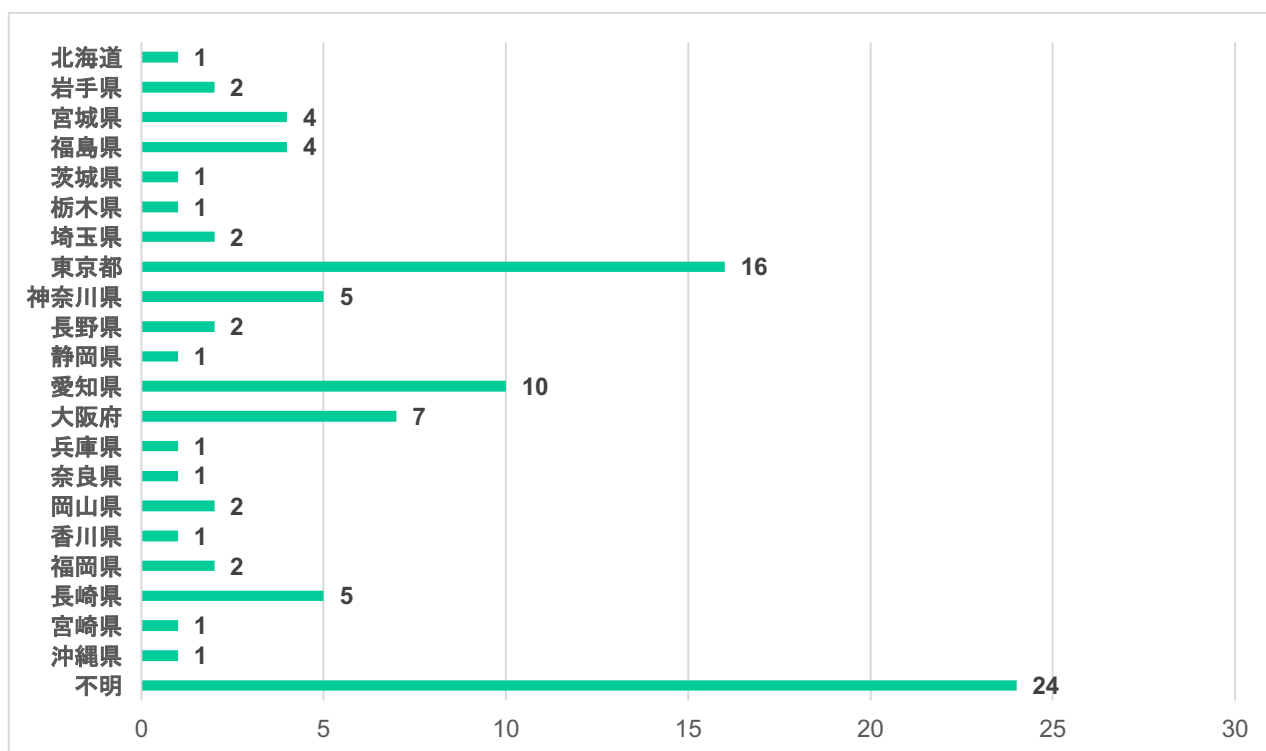
任意記名式、google フォーム、全 7 問（選択式 2、選択+記述式 2、自由記述 3）

2020 年 12 月 12 日ツアー交流会終了後に参加者に依頼し実施

申込者数：95 名 アンケート回答者数：34 名

## 2. 申込者の情報（アンケート設問外、事前申込みベース）

### 1 地域割合



### 2 参加動機

1. 所属団体にて学生向けに東北被災地スタディーツアー等を企画・運営してきましたが、新型コロナウイルスの影響で今年は中止しています。代わりに、当団体でも主に学生を対象とし、オンライン企画を重ねてきました。

これまではオンラインについては制約の多い環境と見てきましたし、今でもそれは感じますが、一方で、現地で集うことはできなくても知ることはできるし、心を寄せることもできる、とこの間実感を重ねてこられました。

今回は、(1)自分が今の東北を知り、学ぶため、(2)学生と何をつなげていくかについて考えを深めるため、また(3)オンラインで東北とつなぐという方法についても参考にさせていただきたく、参加を希望いたします。

特に福島については、福島っ子向け保養キャンプを長年開催してきたことから団体として関わりは深いですが、原発や放射能汚染に対する姿勢が個人、団体で異なることから、個人的には踏み込みづらさも感じてきました。そこで、ぜひ今回、このタイミングで現地の方々のお話をよく聞いてみたいと思います。貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。よろしく願いいたします。

2. 福島浜通りを視察して 3 年が経過、風景に少しは変化が表れているのか現在の情景を確かめたい。  
2016 年と 2017 年に県外避難者の募集を募り、福島の今を確かめて頂くバスツアーを企画。合わせて福島県内の支援団体等を招き、話を伺う交流会を実施。バスツアーは現在中止しているが、福島県内交流会は

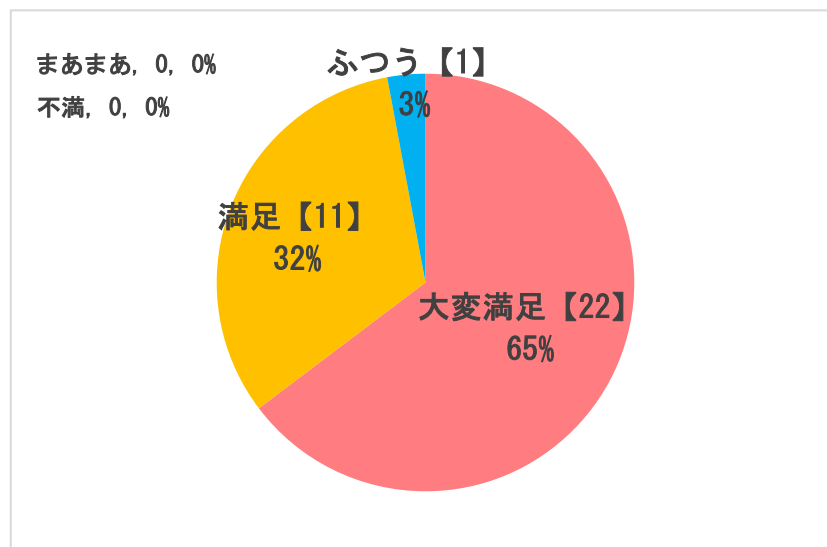
継続しており、福島県内活動団体の情報も得たいと思い応募させて頂きました。

3. 多様な市民活動と防災について関心があるため。また、福島に住む知人、復興に向いている知人がいるため
4. 来年3月で東日本大震災が10年目を迎えます。大変なご苦労があったと思います。我々地域にも南海トラフ地震が想定されています。日頃からいろいろな備えをしておりますが。現地のお話を伺って参考にしたいと考えております。
5. 所属団体の班活動でいわき市を訪れました。その後の福島をこの目で確かめたいです。
6. 震災から10年を経過しようとしているが、福島第一原発廃炉作業はまだ進んでいないように感じる。福島が抱えている今の課題と未来の課題を知り、自分が出来ることを見つめ直したいと思ったからです。
7. 福島の復興の様子、現状を知るため。バーチャルツアーということで、コロナ禍において新たな手法を学ぶため。
8. 東日本大震災から5年目の時に福島を訪れさせて頂いて震災時のすさまじい様子が分かる学校や家屋、公園やそのままの車など実際にこの目で拝見させて頂いたり、大阪で母子避難されている方のお話を伺ったりしました。  
現在の様子や今の課題など聞かせて頂けたらと思います。
9. コロナ禍での今の状況などを知りたいので。
10. 2017年、富岡町や浪江町での避難指示が解除される前に、福島を訪れました。当時、まだまだ深刻な不安や苦悩、問題が山積みだったのを肌で感じました。  
2020年の今、その後の福島を知りたいと思いました。
11. 被災地の今を知りたいです
12. 震災直後から現地に何度か伺い「つながり」の大切さを実感しました。
13. 震災から10年を迎える節目の今年、他県とは違う故郷へ帰れない方たちがまだたくさん居られる福島の今をきちんと知り、わたしにできることは何か、私たちの取り組むべきことはどんなことなのか、考えたい
14. 数年前に福島を訪問し、仮設住宅でのお昼ご飯づくりと住民の皆さんとの交流をしました。現状がどうなっているのか知りたくて参加したいと思いました。
15. 福島へ行く機会を逸し、話を伺いたい。
16. 東日本大震災後復興が知りたい。
17. なかなか福島の実況を見に行けないのでオンラインでも見てみたいと思ったから
18. なかなか現地を訪問することができないため、オンラインで現地の様子を拝見し、お話を聞ける機会は貴重だと思い参加申込させて頂きました。  
ただ、当日はこちらの参加環境の都合により、後半のトークセッションへの参加が叶いません。それでもよろしければ参加させて頂けますとありがたく存じます。
19. JCNのMLと「3.11の今がわかる会議」にて頂いたご案内を見て
20. 福島県復興支援員として支援活動をしているため。
21. 福島県内の団体と震災後関りをもっていること、震災を忘れないこと、復興にどうかかわっていき、今後の災害にどう向き合えるかのヒントを受け取るため。
22. JANICで福島に関わっていて、現在、ISEPでも関係があるから。
23. 東北復興支援に関心があるため
24. 東日本大震災から10年経ちますが被災地の今の現状を知り、伝え続けることで忘れない、風化させないことにつながればと思い申し込みさせて頂きました。  
立ち入り禁止区域が減り、仮設住宅も使われなくなった今どうなっているのかとても気になります。いま私たちにできることはなんだろう。自分に問いかけたいと思います。
25. 震災から10年が経過する福島を知ることができたらと思います。
26. 2011年発災した当初からララコープでは事業と活動で連携して被災地支援活動に取り組んできました。新型コロナウイルスのことがなければ、今年は福島を訪問して被災地の現状を体感し、これから先、長崎からできる支援活動を考えていこうと思っていたので、今回のツアーにはぜひ「福島」に参加したいと思いました。現地に行けないことは残念ではありますが、バーチャルだからこそ経験できることもたくさんありますので、限られた時間ではありますが、福島の実態など色々学びたいと思います。
27. 行ったことがないので
28. 東日本大震災から約10年をむかえる、被災地の状況を知りたいため
29. 興味があるので。

30. 震災直後の福島県を訪れたことがあります。また、再び昨年秋に訪れ、みなさんとの交流を予定しておりました。しかし、台風の影響で叶いませんでした。とてもとても残念に思っております。福島県の「今」を知り、住んでいらっしゃる皆さんの様子をお聞きしたいです。"
31. 被災地支援活動のための情報収集
32. 東日本大震災から 10 年、福島第 1 原発事故から 10 年、振り返りを現地の様子をみながらしてみたいと思いました。
33. JCN バーチャルツアーというものを体験したいため。いつも貴重な勉強会をありがとうございます。
34. 現状や課題等を学ぶため
35. 福島の今を知りたい、これからへの想いを知りたい。  
そして、自分で感じたことを、福島からは少し遠い九州の人々に伝えたい。からです。
36. 原発について知りたい
37. 復興活動をしている
38. 震災直後に何もできなかった分、中期的、長期的に、忘れず、末永くできることをやっていきたいという思いをいただいています。ゼロベースに立ち返って、震災や復興を考え続けるキッカケにしたい意向です。
39. 東日本大震災のあと、ボランティア活動を続けています。  
岩手中心で、宮城が少しです。岩手の出身ですが、福島はあまり活動できておらず、観光だけで、一番支援が必要なところだと思います。新聞等で、悲惨な記事をよく読みます。また、テレビやイベントにも出ていますが、田舎を追われた人たちの悲惨さは語り尽くせるものではないです。被災地の人たちに頑張ると言っていていいものか迷います。宜しく願いいたします。
40. 互いに支えあって生きている人々の生の声を聴きたい
41. 3.11 以降何度かボランティアに行き、その後が気になるから
42. 現状を学びたいと思っています。
43. 私は 20 代後半まで新潟で生まれ育ちました。その為、隣の県の福島にかなり馴染み深く、その後、横浜に引っ越してから震災が起きました。同時期からアート活動によるフランスへ渡る機会が増え、未だにヨーロッパでは福島の現状を聞かれる事が多いです。今年の春は夜ノ森に訪れ、その場にいらっしやっていた数名とお話しをさせて頂きました。現在はインスタレーションを制作しておりまして、わたしのその表現と富岡町の負けないという強い思いがリンクしているようで、ぜひこの貴重な機会に参加させて頂きたいと思いました。
44. 大学の授業で福島の復興状況について学び、改めて原発事故の重大性に気がつきました。  
今回のイベントを通して、現在福島はどの程度復興が進んでいるのかを知りたいと思っています。  
また原発事故が起きた当時、福島県民の方々がどのような思いを抱いていたのか、そして事故が起きてから現在に至るまでどのような生活を送っていたのかを知りたいと思い、今回のイベントに応募いたしました。
45. 宮城、岩手の被災地瓦礫片付けのボランティアは 2011 年から始めましたが 2013 年頃からはもっぱら飯館村に通いました。しかしこのコロナ禍で 3 月以降活動参加を自粛しています。今後の東北支援の要否、在り方、やり方を考えたく存じます。
46. 東日本大震災をニュースでしか知らないことに、ずっとわだかまりを感じていたため、何か接点を持ち自分自身の体験として向き合うきっかけにしたいという思いから申し込みさせていただきました。
47. 防災に関わる仕事をしているので福島の今をきちんと知りたいと思いました。
48. 震災から節目の 10 年を前に、現地の状況や現地の方の生の声を聞きたいから。
49. 7 年前から福島復興支援を進めており、今回のオンラインツアーで現地の状況を改めて確認したいため。
50. お世話になります。ご無沙汰しています。大変お世話になりました。  
夫の介護・自身の眼の病で今は、支援活動から離れています。けれど、個人的には避難者につながっています。  
今夏、地元へ帰還した方もいます。コロナを地元へ持ち込まないよう気づかいしながらの帰還でした。  
昨年 11 月飯館に誘われて行ってきました。  
被災 3 県の今を知りたいと思います。早くコロナが収まり、交流が出来ることを祈っています。
51. 数年前まで災害支援活動に参加していたので福島の今の様子を知りたいです。
52. 以前から福島を訪れたいと思っていたが、コロナ禍で行けなくなってしまったため、今の福島の姿をバーチャルツアーという形で自分の目で確かめたい。
53. 福島には何度かお邪魔しましたが、最近の様子を知りたいので。

54. 福島の復興支援団体に所属、活動しているため。
55. しばらく訪ねていないので、現状を知りたい
56. 知人からの紹介のため。  
また、以前福島を震災後2年くらい経った時に行ったことがあるが、その後の復興状況を知りたいため。
57. 北村さんに教えていただきました。宜しくお願い致します。
58. 福島県出身です。震災前から北海道に住んでいます。福島の今の様子を知りたいので参加を希望しました。
59. 今年度は福島を訪問できていませんので、福島の様子を見ることができればと思います。
60. 震災復興に関心があるため。
61. 残念ながら宮城の申し込みには間に合いませんでしたが、災害については他人事ではなく、我が事として今後も向き合っていきたいと思うと同時に、今の福島についても学べる機会だと思い、申し込みました。
62. 先週の宮城編、大変得るものが多かったので。
63. 福島県の現状を確かめたい。

### 3. 参加の感想



#### 理由 ※原文まま

##### 《大変満足》

- 1) 現地の様子と、そこで根を張る皆さんの想いが身近になったから。
- 2) テレビやニュースで走ることができないリアルな様子、第一線でご活躍されているお話を忌憚ない意見で何うことができたから。
- 3) 福島の様々な活動を知ることができました。
- 4) 街の様子、街の人々の様子、大変よくわかりました。ぜひ、リアルツアーに行きたいと思いました！ありがとうございます。
- 5) 現地の今、生の声が聴けました。
- 6) 初めて聞くことが多く、お話を聞いた場所にぜひ行きたくなりました。
- 7) ありがとうございます。大変関心深く拝見させていただきました。ファシリテーターさまの運びがよく、お声も聞き取りやすかったです。
- 8) バーチャルということで「リアルな今」を知ることが出来たからです。
- 9) 復興が進んでも、そこに住んでいた人の心の苦しきは、ずっと残り続けていることが伝わってきました。
- 10) 双葉郡の現状がよく伝わりました。夫々の地域でご活躍されておられる方々の生の声が聞けて良かったです。
- 11) 前回・宮城からの「今」とは全く違った状況を受け取れる報告、とても丁寧な映像作り、率直な思いを寄せたトーク、と充実した内容だったと感じました。
- 12) 震災後、2年経過した頃に初めて福島県を訪れました。至る所、被災直後のままで、、、立ち尽くし、胸が

締め付けられたことを今でもはっきりと覚えています。私の心の中では、その思いはずっと残っていて、復興を陰ながらいつもいつも願ってまいりました。そんな中、今回福島のバーチャルツアーに参加できて、本当に貴重な機会をいただきました。

活き活きとそして確かな歩を進められ、新しい町の構築と戻って来られた方、移住されて来られた方の様子をお聞きできて、本当に胸がいっぱいになりました。

- 13) 今の福島、これから関われそうなことを一緒に考えることができた
- 14) 現地の様子、最新の状況が丁寧に纏められ、行きたいという気持ちになりました
- 15) 一番感じるものがあったと思います。
- 16) ニュースだけでは知り得なかった事や、以前から関心があった事に関しての情報が知れて大変意味のある時間を頂きました。
- 17) 月日の経過とともに、福島の現状をニュースで見聞きすることが少なくなってきた。人伝えや写真等では情報収集していたが、「動画」だと視覚からダイレクトに伝わるので現状がわかりやすかったですし、感情に訴えかけてくるものがありました。「岩手の復興はまだまだ」と言っていますが、福島は10年経って「ようやくスタートラインに立てたかどうか」を改めて認識しました。復興の歩みが福島より進んでいる岩手の教訓や学びをどんどん福島に繋いでいきたいと思います。
- 18) 企画、そして登壇して下さった方々の熱意が久々と伝わる内容でした。それだけでも胸が熱くなりました。
- 19) 若い世代の前向きな姿に接することができた
- 20) コープふくしまや福島県生協連の関係者としか交流がありませんので、他の方々の活動や想いを聞くことができてよかったです。
- 21) 東日本大震災の他の地区とは違う、原発事故の影響だったり、帰りたいけど帰れない地区の方の現状だったり…気になることばかりでしたが、実際の今の福島を見ることが出来、頑張っておられる方達の想いも何うこともできたので。
- 22) 未来に繋がるお話が伺えたため

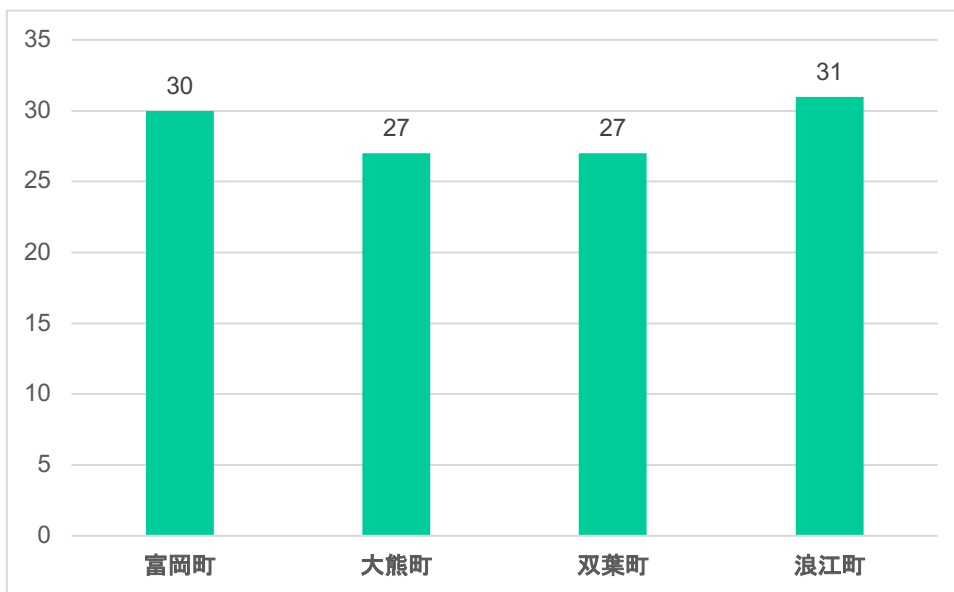
#### 《満足》

- 23) 御登壇者の皆様があまりにも自然体、逆に実直に向き合っている感じが浮かび上がってきました
- 24) 画面越しですが、動画や生放送によるやりとりで、現地の今がよく伝わりました
- 25) 現場で頑張っている若者の声を聞けたから
- 26) 出かけるチャンスを逸していたので、kfp から情報ももらってはいませんが皆さんの様子を伺えて良かったです。ありがとうございました。
- 27) 今まで知らなかった現地の状況を知ることができたこと
- 28) 今の福島の状況がよくわかりました。質問に答えていただく時間がもう少しあったら良かったなと思います。
- 29) こちらのネット環境の調子が悪く、映像が何度も切れてしまい残念でした。しかし、皆さんの想いは端々に詰まっておりますので、前を向いて進まれていることを感じました。また今回の動画も配信されるということなので、娘たちと一緒に視て話して広めていけたらと思いました。
- 30) 震災から10年経過し、地域に根ざした活動の様子を見る事ができました。
- 31) 福島の今を遠く愛知からうかがい知る機会を得られたこと、特に富岡町の青木さんのお話は以前から伺ってみたいだったので、聴くことができよかったです。質疑応答の時間がもう少しあるとよかったですなあと感じます。
- 32) リアルな福島の様子や現地で暮らしている人の生の声を聞くことができ、オンラインでも体感できたと感じたから
- 33) 帰還困難区域が多く残る中、復興に向けて頑張ってみえる方々の姿や現地を僅かであるが、知る事が出来た。

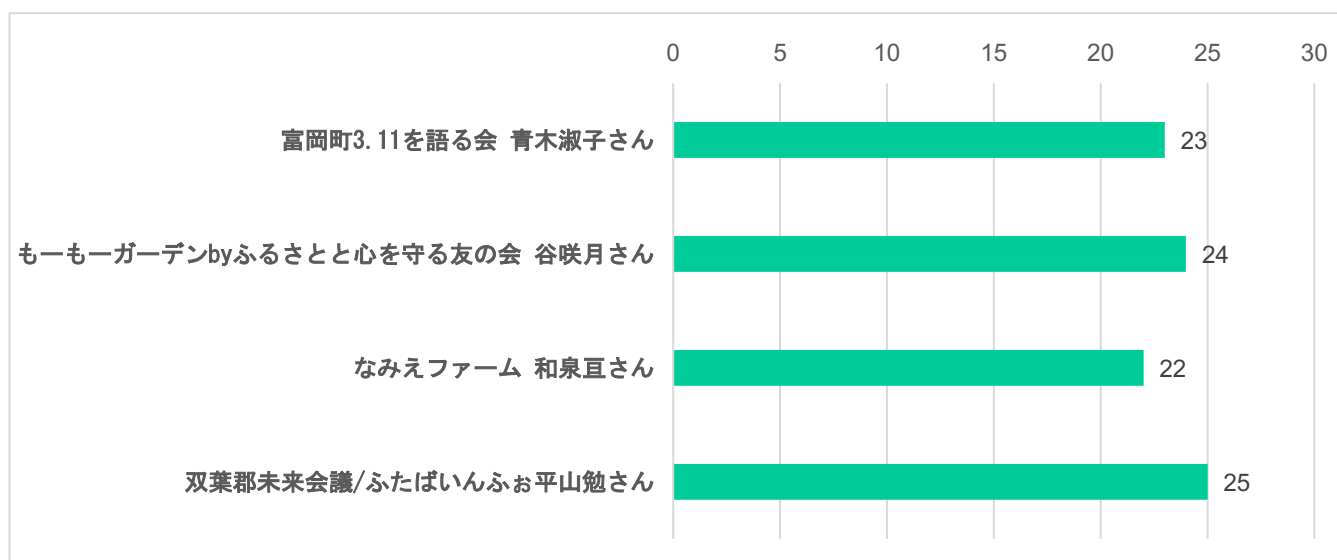
#### 《ふつう》

- 34) 震災と原発事故の複合被害から約10年経過した現在の福島の様子と、現地の方々が元気に活動されていることを知ることができました。  
もう少し、現地の様子などのレポ（映像）でリアルに感じる事ができれば、尚よかったですかなと思いました。

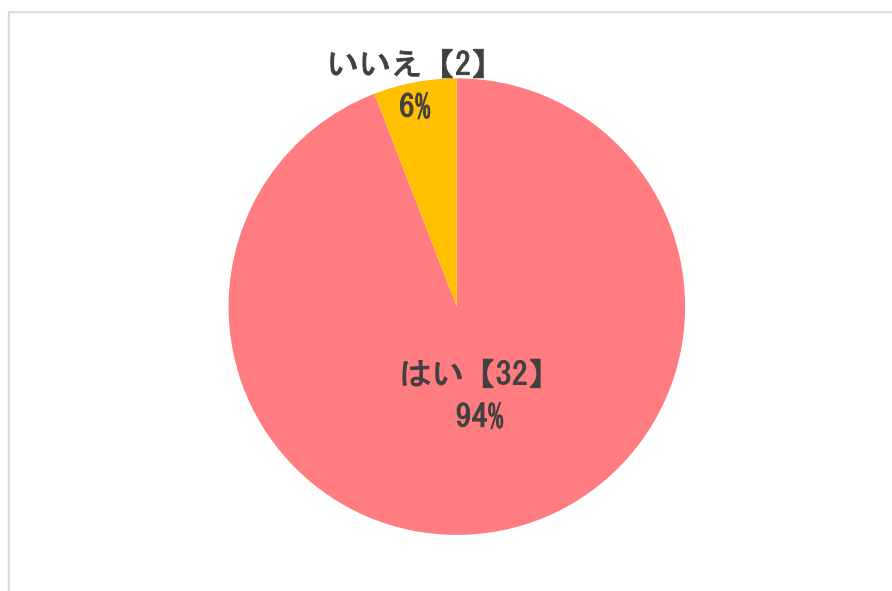
#### 4. 訪れたいと思った地域はありましたか？（複数回答可）



#### 5. 訪ねてみたいと思った方はいましたか？（複数回答可）



#### 6. 出演者からの「関わり方の提案」の中で関われそうなことがありましたか？



「はい」と答えた方は具体例を、「いいえ」と答えた方はその理由をお答えください。

「はい」

- A) まずは、知ったことを知らせていく。
- B) 知る、伝える、買う、参加するなど、関われそうなワードを沢山出して下さったから
- C) まず、現地に行くこと。知ること、共有すること。
- D) 福島の「今」をこころにかけ、周囲に伝えていく。
- E) 物産を地元のイベントで販売したい。
- F) 今日知ったことを周りに伝えます
- G) 訪問して、そのことを多くの人に伝えたいと思います。
- H) 今はコロナで移動できませんが現地へ足を運び大阪の組合員に伝えることはできると思ったので。福島には震災後2年目に現地の仮設住宅や帰還困難区域を視察させてもらったことがあります。ぜひまたお伺いさせていただきたいです。
- I) 福島の現状を仲間に伝えたい。是非近いうちに現地へ訪ねて今回ご紹介いただいた方々にお会いして直接お聞きしたい。
- J) 「発信し続ける」という人が居る=それに思いを寄せる、関心を持ち続ける事に意味がある、それを体現し続けたいと思います。
- K) まずは、身近な人たちに福島県の“今”を伝えることをしたいです。そして、必ずいつか再度訪れて、復興の様子をこの目でみたいことと、美しい福島県を堪能したいです。
- L) 今日のことを伝える。現地を訪れる。しり、学び、伝え、忘れない
- M) 近い人に伝えること、一緒に訪ねること
- N) 先ずは福島を訪れたい。
- O) 谷さんのモーモーガーデンにすぐにご連絡させて頂き、春前にはボランティアに行かせて頂きます。そして人手不足と伺ったので、私では微力と思いますが、この活動を少しでも広められるお手伝いをさせて頂きたいと思います。
- P) シンプルに福島へ行く。あと、現地で活動してらっしゃる皆さんの存在と活動を（お節介ながら）発信していく。
- Q) まず、私は、行きます。そして自分なりに見て聞いて食べて感じたことを、九州で自分の言葉で伝えます。
- R) いつか訪れたいです。
- S) 現地で語り部の方などのお話を聞く機会をつくる。道の駅なみえに寄ってラーメン食べる。
- T) 語る会の演劇メモリアル公演の動画配信を自分だけでなくいろんな方にも伝えて視聴させてもらうとか、もーもープラットホームに自分のできることで何か関わっていくとか。
- U) コロナ禍がおさまれば、もっと頻りに現地に足を運んでみたいと思います。
- V) まずは、実際に訪れるところから始めたいと思います
- W) これからも機会を作り訪問したいです
- X) 農業と再生可能エネルギーを組み合わせたソーラーシェアリングを国内外で振興しています。福島の若くて、新しい農業とタイアップしたい
- Y) 物や話を広げていく、例えば富岡と言ったら福島とわかっていただけるように。
- Z) 周りの人達に広めること
- AA) 福島の事をもっと知って、周りに伝えていくこと
- BB) まずは家族や活動を共にしている身近な人から今日知り得たことを話し広げていきたいです。風化させることの無いよう忘れることの無いよう伝えていきたいと思いました。
- CC) 福島の取り組みに刺激を受け、自分の地域に必要な資源や、出来そうな活動を見つけられそうな気がしました。
- DD) 福島のことは福島に住む人不在で好き勝手に語られることが多いからこそ、足を運ぶこと、人と関わり、その中から今の姿を正しく知っていくこと。
- EE) いつか福島を訪れること
- FF) 2016年は中通りを2017年は浜通りの避難者参加のバスツアーを実施。機会があれば再度企画したい。

「いいえ」

GG) 上記質問のタイミングで通信状態が悪かったようで、内容を把握できておりません。

HH) 私にできる事は、私の周りにいる方と福島のことを話したり、訪れることくらいかと思いました。

## 7. このツアーで印象に残ったこと、福島への思いなどご自由に記載ください。

- 1) コロナ禍でも、よくこれだけの工夫で、現地との距離を近づけて下さったなと思います。育美ちゃんはじめ、制作に関わった皆さん、本当にお疲れ様でした。よっ！名プロデューサー！
- 2) 福島は大好きな場所です。なかなか足を運べないのですが遠くから応援しています。
- 3) 11月に福島復興支援員の現地視察で、浪江、双葉、大熊、富岡に行きました。もーもーガーデンで谷さんにもお世話になりました。まだまだ行きたいところ、お会いしたい人がいます。また行きます。
- 4) 福島には、なかなか行く機会を持たず、一度も行ったことがありませんが、今回のツアーでいろんなことが復活してきていることもわかったので、ぜひ訪れてみたいと思います。
- 5) これまでは直接現地に行くか、HP等で情報を見に行くというスタイルでしたが、10年の節目にオンライン中継という新しい形が当たり前になった変化がうれしいです。10年を超えて新しい時代、街づくりに関与できればうれしいです。今回のツアーで強く感じました。ありがとうございました。
- 6) 被災地に行くとは言わずに双葉に行くと言ってほしいという言葉が印象的でした。そこに普通にすんでいるんですね。教えていただいてありがとうございました。
- 7) 私の役目は自然エネルギーを主流化することで原発や化石燃料依存の社会構造を変えること。そのためには現場で汗を流している方々との協働が欠かせません。前向きに新しい未来を作ろうとしている若者たちに共感と賞賛を覚えます
- 8) オンラインで開催していただいたおかげで参加できました。このような機会がまたあるとうれしいです。
- 9) 今回のように、10年という節目に、ひとつの形を作ることが大切なものと思われました。このツアーがなければ伝わらないものがあると思います。ありがとうございました。
- 10) これからも引き続き、何か関わっていきたくと思いました。
- 11) 10年、長いのか短いのか複雑と思います。震災前には完全に戻すことは出来ないでしょうが今から出来ることはたくさんあると思います。ここで暮らすこと、一人でも多くの方が戻れるよう応援しかできませんが頑張ってください。今日は本当にありがとうございました。
- 12) 震災がもたらした悲しみは、消えません。忘れず、辛い思いをされた人たちに、何かできる事があればと考え続けたいです。
- 13) 復興に向けて自分なりに力になれることを考えたいと思いました
- 14) 初めて参加させていただきました。これまで私たちも長崎からできる復興支援として、組合員へ東北の商品の利用を呼びかけたり、保養企画として春休みに福島の子もたちを長崎に招待する活動をおこなって来ます。まだ実際に福島へ行ったことはありませんが、今回の企画で今の福島の様子をリアルに知ることができました。コロナが落ち着いたらぜひ実際に足を運びたいと思います！ありがとうございました。
- 15) 甚大な被害に遭われたにもかかわらず、地域で復興や住民の方々の支えになっておられることにリスペクトします。今後もお身体を大切にされ事業や活動を続けてください。
- 16) 『町の中にはまだまだバリケードがあり、人と人の間にも見えないバリケードがあることを感じる』と言われていたことが印象に残っています。震災と原発事故という複合災害の恐ろしさは本当に忘れてはならず、繰り返してはならず、遠く離れた地からではありますが力になれることがあればと思っています。
- 17) 震災直後から何度か現地にかかせていただき、少しでも実際の様子を感じようと思ってきました。3. 11が近づくと報道されるという傾向にありますが、みんなが思い出すきっかけになるのであれば良いのかなと思っています。また、平山さんのことばに手付かずになった部分の写真だけを使って「まだ復興はしていない」と報道されるとありましたが、一方で復興している所だけを取り上げて全てが復興しているような誤解をされるのもどうかと思います。現地に住まう人の複雑な胸中を思いやる報道のあり方が必要だと思いました。
- 18) 「復興」が進む、という次元とは全く違うところに福島があることを、もっと沢山の人が知るべきで、そのための様々な地道な取り組みに陽が当たるよう、改めて大きなうねりが起きないものか、起こせないものか、という事を強く思いました。
- 19) これからも復興を、まちづくりを積み上げていっていただきたいと思います。そして、これからもいつも



私たちは一緒です！微力な私にできることを探しながら、心はいつも隣にいらしてください。本当に有難うございました。

- 20) 10年があったという間だったのか、やっとここまで来たのか受け止めはそれぞれかと思いますが、私たちはこれからもずっと応援していきます！
- 21) 福島に入ったことで 福島を好きになり、福島の人に育てられているように思いました。福島には、行っていないところ知らないところも多く、当分の間通うことになりそうです。福島の皆さん、皆 素敵な人が多いです。
- 22) 福島のツアーが一番心にしみた（悪い意味ではなく）、事実をみてできることを考えたい。福島にいる皆さんの思いは全国に伝わりました。
- 23) 1番印象に残ったのは谷さんご活動です。被災した牛に関してのニュースは私も拝見していましたので素晴らしい行動力に感動しました。語り部の青木さん、なみえファームの和泉さん、双葉インフォの平山さん、みなさまの熱い思いが画面上から伝わりすぐに訪れたいと思いました。私は新潟出身なので福島には馴染みが深く、今後何かしらで関わらせて頂きたい土地です。
- 24) 距離的、機会的、心情的に、なかなか被災3県に行って情報収集・繋がる事が出来ていませんでした。今回のツアーをきっかけに「あ、そう素敵活動されている方がいるなら行ってみよう」と思えた。準備運営大変だったかと思えます。この度は有難うございました。
- 25) JCNの山崎さんの思い入れが特別お強いのかなと最後のお言葉を伺いながら感じました。広域避難者の支援なども通じて見えているものがあるのだろうと思いましたので、そうしたことをまたまとめて発信していただけるとよりよいのかなと感じました。
- 26) (福島に限らないのですが)そこに住んでおられる方の言葉で現状を知ること、そこに住んでおられる方の未来への想いを知ることから、11年以降に、遠くに住む私たちができることはみえない。直に行ったことのない、聞いたことのない人たちによる言動が、福島の復興の足かせとなっていることは否めない。そう思いました。
- 27) これからもバーチャルツアーをお願いします。
- 28) 遠く離れた長崎が自ら出来ることは何か、考えたいと思います。
- 29) 浪江の和泉さんの「震災があった場所を忘れない、その活動が復興に繋がっていくと思います」の言葉が心に残りました。
- 30) まずビデオツアーがとてもわかりやすかった！他の県と違う帰還困難区域のことなどもしっかり伝えてもらえて本当によく分かりました。それから、平山さんの地元富岡への強い愛を感じました。他のツアーでも感じたのですが、外から入った方がクローズアップされることが多い中で、地元の方があんなに熱く頑張っておられる姿がとても素敵だと思いました。

以上